

(9) 天津港(集团)有限公司

項目	詳細
訪問日時	平成 23 年 11 月 2 日(水)15:00~15:15
概 要	<p>●鄭 庆跃副総裁挨拶要旨</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・天津港は昨年(2010年)、コンテナ取扱個数 1,000 万 TEU を突破した。</li><li>・第 12 次 5 年計画に掲げる「消費と投資と輸出のバランスが取れた施策」のもと、国内景気が引き続き好調である。</li><li>・新規航路 28 航路を開設し、航路数は 115 航路となり世界主要都市との海上ネットワークを拡充した。</li><li>・港の後背地には、天津トヨタなどの自動車工場群が控えており、部品輸入や完成車輸送の増加が今後も見込まれる。</li><li>・進出企業からは、工場と港までの至近性を重視し、天津を華北地域の拠点として生産増を図っていきたいとの声も寄せられている。</li><li>・天津港は、東、北、南の 3 港区で構成されている。現在開発中の「東疆港区<sup>とうきょう</sup>」では、水深 16.5 メートル、岸壁延長 2,300 メートルのコンテナ岸壁 6 バースが稼働している。13,000TEU 積み以上の超大型コンテナ船が接岸可能で、コンテナターミナル全体が完成する 2020 年には総延長約 7,000 メートルの一大コンテナターミナルが誕生する予定である。</li></ul>